校長室だより
No.　３９
平成 30 年２月９日(金)

強く　やさしく

六ツ美中部小学校校長
加藤嘉一（かとうよしかず）

３学期に成果が表れているスーパーサイエンススクール事業＆ＥＳＤ推進
－環境委員会主催　「環境オリエンテーリング　樹木ラリー」集会－

昨年までは「緑化委員会」という名前で活動していた「環境委員会」。これは、本校が環境を基盤としたＥＳＤの研究を進めてきた経緯があるため、子供たちの活動も「緑化」から「環境」へと発展させてはどうかという発案を受け、今年から改名したものです。第一歩の歴史を刻む活動になったと感じたものが、８日の木曜集会と昼休みの時間に行われた、「環境オリエンテーリング樹木ラリー」でした。これがなかなかいいんです。

この集会は、本校の特徴ある樹木を環境委員が 11 本選び、その樹木にまつわる内容をクイズラリーにし、みんなに答えていってもらうというもの。クイズに答え、１文字ずつ集めると一つの言葉になるようです。問題の例は、右のよう。

問題⑥　梅の木は日本にいつ頃伝わったでしょう。
あ　平安時代
い　飛鳥時代
う　江戸時代

また、クイズラリーに参加する側についても工夫をしてくれました。一人一人が回るのでなく、ペア学年の１・６年、２・５年、３・４年で、ペア（２人・３人組）を作り、一緒に１枚のカードを持ってクイズラリーをするのです。

今回の仕掛け人は、稲垣先生と橋本先生です。中部小学校は、もともと樹木の少ない学校でした。それを、校舎の増・新築期に、第 22 代校長・杉崎利兵衛先生（昭和 62～平成２年度）が、子供たちに四季の変化や楽しみを感じさせる校庭を作りたいと多くの木を植えられたのでした。特に、中庭～駐車場のあたりはその当時に植えられたものです。ですから、このあたりは実のなる樹木が多く植わっていますし、中庭は庭園風に石や樹木が一緒に組まれています。そうした中部小の特色ある樹木に関心をもち、種類を知ったり季節感を味わってもらったりするように、今回の取り組みが計画されました。

【以前からある表示】

きっといろいろな学校を訪問すると、樹木の表示を目にすることがあるでしょう。本校にも過去に樹木の表示

を作った形跡があります。たいていは、業者に委託したり、校務主任・校務主任補佐、または、緑化主任の先生が時間をかけて作成したりしたものでしょう。しかし、昨年本校の郷土読本「なのはな」を改訂する際に、生活科用のページを作る目的で、造園屋さんに全樹木名をガムテープに書いて巻き付けていってもらっていました。今回これを利用し、樹木や図鑑をよく見て、表示板とクイズを子供たちが手作りしました。さらに、環境委員会だけでは作りきれないため、総合的な学習で学区の草木を調べていた４年生が手助けしてくれました。

【子供たちの表示】

　すでに完成した表示を見ると、なんともあたたかい。子供がその樹木のイメージにあわせて、余白部分に絵を描いたり、文字をデコレーションしたりしています。手作りの表示はとても味わいがあります。来校の際には、ぜひとも、この子供の表示を探していただきたい。ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）は委員会活動でも担当の先生の手によって推進されています。

－専門家による理科出前授業、校外学習－

【外部講師・地球温暖化実験】

【西澤名誉教授等・放射線観察】

　８日（木）、６年生の理科で名古屋大学名誉教授・西澤先生他外部講師による発電の仕組みと放射線の授業が行われました。これは、スーパーサイエンス事業を利用した特別授業です。これも、稲垣先生が中心となって計画してくれています。今回も放射線にかかわる正しい知識、わたしたちたちでは用意できない実験を学ぶことができました。科学館や科学ショーに行かなければ見られないようなものが校内で展開されています。以下が本年度の実績です。

本年度　専門家による理科出前授業・校外学習

7/3	子ども緑の勉強会（樹木医さん）４～６年
9/13	化石エネルギーと地球環境（東邦ガス　ガスエネルギー館）６年
12/20	電気自動車と地球環境保全（三菱自動車工業）５年
12/21	発電実験・消費電力実験から節電を（県地球温暖化防止活動推進委員）６年
1/16	光合成と地球環境（自然科学研究機構）６年
2/8	電気の旅とエネルギーミックス・放射性物質と暮らしのエネルギー（中電・中電原子力懇談会・名古屋大）６年
2/27	火力発電・発電所・電力館・水族館バックヤード（中電碧南・碧南水族館・海の科学館）６年